

【出生】 令和2年度
 年間出生数：8人
 養育医療申請児数：0人
 低出生体重児数：0人

【医療機関】
 *「発達障がい児(者)の診療等を行っている医療機関リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)

【乳幼児健康診査】 令和2年度

R2	年間実施回数	精神発達障害有所見率	保健相談要経過観察率	スクリーニング
乳児	6	0.0%	4.5%	医師判断/心理士判断/保健師判断 保護者の訴え/課題の実施(1歳6か月児：言語、積み木、絵カード(十色、大小、長短))
1歳児	3	0.0%	0.0%	
3歳児	3	0.0%	0.0%	

【子育て支援サービス】
 ◆子育て支援センター：
 一般型 ケ所
 連携型 ケ所
 気になる子のフォローの場としての利用：
 <その他子育て支援サービス>
 【個別発達相談】 令和2年度
 年間回数：16件/年 延べ 16件/年
 担当職種：公認心理士

【未受診者対策】
 電話：はがきでの再通知/保健師による訪問勧奨/保育士による勧奨
 【市町村独自の取り組み】

【親の会等】
 *「発達障がい者に関する親の会・当事者団体等リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育グループ】

グループ名	
対象児(年齢)	
開催日時	
定員	
実施場所	
スタッフ体制	

【健診事後フォロー教室】

グループ名	
対象児(年齢)	
開催日時	
定員	
実施場所	
スタッフ体制	

【移行支援】

【相談支援事業所】 指定障害児相談支援事業所 0 ケ所
 【療育の利用にあたり必要な手続き】 医師の診断書：求めている(療育はやっていない) 診断書以外：
 【自治体の実施する取り組みや研修】 親子ふれあい事業(療育相談)
 発達障害研修の開催 頻度：年3回 内容：乳幼児健診で気になる子の発達相談

児童福祉法による障害児通所支援				それ以外の通所支援		
児童発達支援	医療型児童発達支援	保育所等訪問支援	親子通園	単独通園	その他	
ケ所	ケ所	ケ所	ケ所	ケ所	ケ所	

【気になる子がいた場合に紹介できる支援機関】
 あり
 主な機関名：村保健センター、名護療育園、地域生活支援事業所うむさばる
 【幼児教育・保育施設での独自の取り組み】
 【療育機関と保育所・園の併用利用】
 ①公立 0人 ②認可 0人
 ③小規模認可園 0人
 ④認定こども園 0人
 ⑤認可外 0人 ⑥幼稚園 0人

【保育所】 ※ () 内は療育機関を併用している児の数

公立	認可	小規模認可	認可外	認定こども園	自治体独自の指定園
1 ケ所	0 ケ所	0 ケ所	0 ケ所	0 ケ所	ケ所

【障害児保育】
 実施園数：0 ケ所
 実施人数：0 人
 <必要な手続き>
 医師の診断書：求めている(その子の特性を十分に配慮して保育するため)
 診断書以外：特別児童扶養手当・障害者手帳(療育・精神)・生育歴記録票、児童調査票
 【通常保育の中の気になる子を把握する仕組み】
 ・気になる子のファイルを作成し、担当が所長と主任に報告
 ・2か月に1回程度、会議で情報提供している。必要であれば、親子ふれあい事業へ繋げ
 【気になる子がいた場合に紹介できる支援・機関】
 村保健センター、名護療育園、地域生活支援事業所うむさばる

【施設支援・巡回支援】
 巡回支援専門員整備事業
 <対象施設>
 村保健センター
 <必要な手続き>
 施設からの希望
 <対応職種>
 公認心理士1名

【自治体の実施する取り組みや研修】
 障がい児保育についての知識、経験等を有した保育士を配置し、障がい児等の保育にあたる保育士は、適宜必要な研修を受ける等研鑽努める。障がい児等の特性に応じたトイレ等の設備及び必要な遊具、教材等を揃え受け入れ態勢を
 【認可外保育園の気になる子を把握する仕組み】
 <認可外保育施設の発達障害に関する研修>

【障害児保育から幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】
 保・幼・小 連絡会議で、情報共有している。

【保育園での気になる子を幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】
 障害児保育や特別支援教育の対象児以外の子どもについては、親の気づきが十分でない場合が多く、情報や支援の引継ぎが困難になっている。地域が狭いので、周りの目を気にして受け入れにくいところもある。

【就園・就学】

【放課後児童クラブ】 令和2年度
 補助金交付対象児童数：ケ所
 障害児受入学童数：ケ所
 「障害児受入推進事業」実施学童数：ケ所
 「障害児受入強化推進事業」実施学童数：ケ所

保健師の意見書による個別支援(訪問、電話相談等)



【障害者相談支援事業】
 ●委託相談事業所 (3ヶ所)
 地域生活支援センターウエーブ
 北部障害者生活支援センターハーモニー
 地域生活支援事業所うさばる

●基幹相談支援センター
 設置：なし

【巡回支援専門員整備事業】
 現在、実施している
 乳幼児検診時に公認心理士に派遣を依頼し、気になる子供への支援を行っている。

【発達障害児者及び家族等支援事業】
 実施の予定はない

・ソーシャルスキルトレーニング (SST) :
 現時点では、必要性を特に感じていない (保健保育)
 必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (福祉/教育)

・ペアレント・トレーニング:
 現時点では、必要性を特に感じていない (保健保育)
 必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (福祉/教育)

・ピアサポーター (福祉のみ) :
 現時点では、必要性を特に感じていない

【幼稚園入園時に発達障害の子どもの把握する取り組み】
 <状況> ほぼ把握している
 <把握方法> 幼児教育・保育施設からの引継ぎ/就学相談会

【幼稚園】 (令和2年度)
 【特別な支援を要する幼児】
 自閉症・情緒障害児： 5人
 言語障害児： 0人
 知的障害児： 3人

【加配支援員について】
 (令和2年度)
 配置：なし (総数： 0人)
 配置園数： 1
 支援対象園児数： 3人
 採用基準： なし
 配置基準： なし

【加配支援員向け研修会について】
 (令和2年度)
 なし

【就学相談 (就学支援) について】 (令和2年度)
 幼児数： 11人
 特別支援学校： 0人 通級指導： 0人
 特別支援学級： 0人 通常級のみ： 11人
 工夫や課題： ・検査日を3月から8月の変更 (11月の教育支援委員会にかけのため)
 ・検査前に保護者説明会を実施
 診断書の提出： 求めている
 【個別の教育支援計画・指導計画について】
 診断がある子は、作成している

【不登校の児童】
 把握している
 取り組みや課題：

【自治体で行っている特別支援教育に関する研修会について】
 研修名/対象/年間回数/形態
 特別支援員研修会/特別支援員/2/定例

特別支援コーディネーター等/特別支援コーディネーター/2/定例

【市町村独自で巡回支援】
 行っていない
 利用する事業や制度：

対応している職種 (人数) :
 支援対象となる校種：
 支援の対象者と内容：

必要な手続き：

【幼稚園で気になる子の引き継ぎについて】
 委員会主催で情報交換の場を設けている

【小学校入学時に発達障害の子どもの把握する取り組み】
 <状況> ほぼ把握している
 <把握方法> 幼児教育・保育施設からの引継ぎ

【小学校】 (令和2年度)
 【特別支援学級】
 自閉症・情緒障害学級： 1
 言語障害学級： 0
 知的障害学級： 1

【通級指導教室学級総数】 (令和2年度)
 自閉症対象： 0
 注意欠陥多動性障害対象： 0
 学習障害対象： 0
 言語障害対象： 0
 情緒障害対象： 0

【加配支援員等について】 (令和2年度)
 配置：なし (総数： 0人)
 配置校数： 0校
 支援対象児童数： 3人
 採用基準： なし
 配置基準： なし

【加配支援員等向け研修会について】
 (令和2年度)
 なし

【就学相談 (就学支援) について】 (令和2年度)
 児童数： 2人
 特別支援学校： 0人 通級指導： 0人
 特別支援学級： 2人 通常級のみ： 0人
 工夫や課題：
 診断書の提出： 求めている
 【個別の教育支援計画・指導計画について】
 診断がある子は、作成している

【不登校の児童】
 把握している
 取り組みや課題：

【小学校で気になる子の引き継ぎについて】
 個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している/支援ファイル (新サポートノートえいぶる 等) の利用を推進している

【教育研究所や青少年センター等市町村独自の機関との連携について】

【公立学校以外の通学児童の把握及び支援】
 行っていない

【各機関の相互連携】
 発達支援に関する行政内での連携会議等

名称	伊是名村自立支援協議会
頻度	奇数月 (年6回)
参加部署等	住民福祉課、保健センター、相談支援事業所、地域アドバイザー等
検討内容	自立支援に係る事項、困難事例への対応等、相談支援事業の実施に関する事項、各専門部会、発達支援に関する事項、その他

【中学校入学時に発達障害の子どもの把握する取り組み】
 <状況> ほぼ把握している
 <把握方法> 小学校からの引継ぎ

【中学校】 (令和2年度)
 【特別支援学級】
 自閉症・情緒障害学級： 1
 言語障害学級： 0
 知的障害学級： 1

【通級指導教室学級総数】 (令和2年度)
 自閉症対象： 0
 注意欠陥多動性障害対象： 0
 学習障害対象： 0
 言語障害対象： 0
 情緒障害対象： 0

【加配支援員等について】 (令和2年度)
 配置：なし (総数： 0人)
 配置校数： 0校
 支援対象児童数： 0人
 採用基準： なし
 配置基準： なし

【加配支援員等向け研修会について】
 (令和2年度)
 なし

【就学相談 (就学支援) について】 (令和2年度)
 生徒数： 2人
 特別支援学校： 0人 通級指導： 0人
 特別支援学級： 0人 通常級のみ： 0人
 工夫や課題：
 診断書の提出： 求めている
 【個別の教育支援計画・指導計画について】
 診断がある子は、作成している

【不登校の児童】
 把握している
 取り組みや課題：

【特別支援教育を進めるにあたり市町村独自で取り組んでいること】
 小学校入学予定園児 (全員) へ、就学支援検査を実施

【特別支援教育に関する説明会の対象者と時期、目的、内容】
 4月教職員向け 6月幼稚園保護者向け

【発達障害に関する窓口の周知方法】
 特に周知していない

【発達障害の相談対応】

【災害時支援に関する今後の取り組みや課題】
 現在災害計画に障害者支援の記載はあるが、発達障害児の指定はないため、特定して記載するかを検討する。

【新型コロナウイルス感染症対策に関する発達障害児の支援】
 無し

【高齢期の発達障害児支援に関する取り組みや課題】
 無し

【独自事業や取り組み】
 無し

【発達障害児者支援への取り組み状況や課題】
 無し

【中学校卒業後の引き継ぎについて】
 ●高等学校：個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している
 ●高校以外の進路先 (就労支援も含む)：個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している

高等学校・特別支援学校・就労等

【成人の発達障害者に対する支援】
【発達障害者の可能性が疑われる (未診断) の方への対応】
 個別訪問や窓口等に来庁された際の声かけ
【就労機関に繋ぐ際の工夫点や課題】
 委託先の相談支援事業所等に相談を投げかけたり、村内での就労に関しては、村社会福祉協議会との連携をしている。